

東京

「其の日」暮らし

＝ドイツ編＝



さくらんぼのじよ

ゲストハウスを出て、ホテル住まいをしなければならぬかも!? というところまで来てようやく新しい住処を見つけたことが出来ました。入居前に色々準備が必要でしたが、ちょうど日本からの応援隊（義母と仲間達）のドイツ滞在期間と引っ越しの時期が重なったので、みんなのおかげであっという間に新居で普通に生活を始めることが出来ました。

ドイツに来た頃は、水を買ったりお茶を飲むようにしたりして水道水は飲めないと思ひこんでいました。ある暑い日のこと。飲むものがほしくて水道水を飲んでみたらなんと、水が冷たくとても美味しいのです。まるでミネラルウォーターを飲んでいる感じでした。「ゲストハウスの場所は森に囲まれた所なので特別なのかも」と思っていました。新しい家の水道水を試してみるとヤッパリ美味しい。水道からミネラルウォーターなんて贅沢やなあと思ひながらごくごく飲んでいきます。

住居が定まると次に気持ちがかうかうのは食べ物についてです。ドイツでは街路樹の桜にサクランボがなる種類の木が植えられていることがあります。まだゲストハウスで暮らしていた頃、ヒュースナウ村に向かう道すがら桜の木を見るとサクランボがなっているのです。小学校の隣にある桜の木なのに、誰も手を付けていない状態でたくさんありました。初めて木になっているサクランボをみたので、そのドキドキ感でいっぱいでおかしいと思うこととなく、一粒味見をしてみました。「・・・渋酸っぱいし美味しくない」道理で残っているハズです。それから一週間ほどして再挑戦を試みましたが、時すでに遅し。キレイに無くなっていました。みんな実が熟すのを待っていたようでした。これが私とドイツのサクランボの最初の出会いです。その次は義母達が私の代わりにホームセンターまで買い物に歩いてゆく途中、街路樹にサクランボが鈴なりなのを見つけたのが渴いていたこともありたくさん食べたという話を聞きました。「羨ましい」と早速下見をしに出かけましたが違う道を通ったため見つけれませんでした。再度場所を聞いて挑戦。たぶんこの場所のハズなのに、手の届く範囲の実はずべて無くなっていました。せっかくなのでタッパーを持って行った



日本のサクランボにそっくり

のに！！ と落胆しつつ、それでもどこかにあるかもしれないと期待しながら家の近所を散歩していると、少し届きにくいけれど土手を上ったら手の届く範囲に鈴なりの実があったのです。そして念願の味は甘くて美味しい。ドイツの果物はそんなに甘くないと勝手に思いこんでいたのにこのサクランボはとて甘く感じました。片手にいっぱい食べても木にはまだまだたくさんあります。ツッパーに入れるつもりが、たくさん食べられたことに満足してそのまま帰ってきました。また明日も食べに行こうと思っています。

PUKIPUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞